

挑戦の先に生まれた絆～19NSJを終えて～

尾張南地区あま第3団 団委員長 竹内 正人

私は、派遣指導者として今回4回目の参加でした。スカウトにとっては、6泊7日の長期キャンプは未知な経験だったでしょう。始まるまで不安な日々を過ごしていたようです。

私たち指導者も同じ心境でした。

しかし、野営生活が始まると、日に日にその不安もなくなりました。班内で揉め事や、トラブル等色々ありましたが、同じ釜の飯を食べた仲。より結束力が高まった隊となったと思いました。

後日行った報告会で、拡大の発表でもそれを強く感じました。地区や活動拠点は違えど、ここで得た絆はスカウトにとって大きなONEpieceになったと思います。

テーマである、挑戦～神石から未来への一歩～、まさにスカウトの今後の人生に大きな一歩の経験だったと思う。

今後のスカウト達の活躍を期待しています。



19NSJの経験

尾張西地区派遣隊隊長 佐藤陽介・平田昌章

4月の結隊式以降、19NSJへ参加したスカウトの成長を大いに感じることができる6泊7日の活動だったと感じています。

混成班での活動であったため初めて一緒に活動するスカウトも多く事前訓練から大変なことも多かったです。

ただし大会が始まって国や県を超えた仲間たちと楽しそうにプログラムに参加する姿や、事前訓練では苦勞していた決められたスケジュールの時間を守る(前倒して活動する)、ことがしっかりとできるようになっていました。

最後は笑顔で神石高原を後にするスカウトの姿をみるのができて良かったです。

19NSJの経験を生かして今後のスカウト活動に励んでもらいたいです。



スカウトの日

尾張東地区 江南第3団 ローバー副長 石原 昌幸

9月5日(日) スカウトの日の活動としてゴミ拾いを実施しました。

今年は、ローバー・指導者のスキルアップのためゴミ拾いと並行してモンキーブリッジを制作し、スカウトたちに楽しんでもらいました。

久しぶりにモンキーブリッジを制作したためか、スリル満点の高さになりましたが、誰一人怖気づくことなく渡りきることができました。

そのあとに、ボーイ隊の活動報告・19NSJの報告を、保護者も含めた団内の皆さんへ発表してもらいました。

江南第3団では、保護者さんにローバー隊までの活動を理解頂き、継続意欲向上につながるように取り組んでいます。

